

### 1ST LAYER (BASE/下地づくり、トレーニング)

#### ●ベース作り（雪質に合わせて滑走面にワックスをいかにしみこませるか）

ワクシングの重要性は「滑走面にワックスをいかにしみこませるか」にかかっているといつても過言ではありません。

どんなに雪質にマッチしたワックスを塗っても、滑走面にしみこんでこそ初めてその効果を発揮するのです。

雪温、雪質によって選定したワックスを<レーシングワクサー>を使用してホットワクシングします。

<ワックスフリース>を使うとより均一に塗ることができます。スキーのサイドを<マスキングテープ>で保護すると、

ワックスがビンディングに付着したり、プレートの隙間に入り込むのを防ぎます。アイロンで火傷しないようにご注意下さい。

※アイロン温度は室内での融解温度を示しています。

ワックスをミックスした場合は、多少変わります。滑走面を傷めないようにワックスをたくさん垂らして下さい。

#### ※【ホットワクシングの使用方法】



①スチールまたは、プロンズブラシで滑走面に残っているワックスや汚れをクリーニングして下さい。



②ケアフリースで拭き取ります。



③スキーのサイドをマスキングテープで保護すると、ワックスがビンディングに付着したり、プレートの隙間に入り込むのを防ぎます。



④ワックスに合わせ温度を設定します。



⑤雪質に合わせたワクシングをします。



⑥ワクシングをします。



⑦冷えたらスクレイピングします。



⑧オーバルブラシプロンズでブラッシングします。



⑨馬毛ブラシでブラッシングします。



⑩マイクロフィニッシュスチールで仕上げます。

⑥ワクシングをします。

#### ※【リキッドワクシングの使用方法】



①スチールまたは、プロンズブラシで滑走面に残っているワックスや汚れをクリーニングして下さい。



②ケアフリースで拭き取ります。



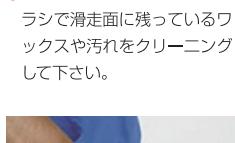
③ベースワックスリキッドを良く振り攪拌します。



④ケアフリースにベースワックスリキッドを垂らします。



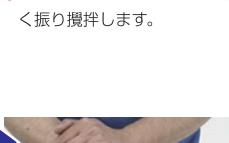
⑤滑走面に塗り込みます。



⑥乾く前にフィニッシュコルクのフェルト部分で塗り込みます。



⑦馬毛ブラシでブラッシングします。



⑧マイクロフィニッシュスチールで仕上げます。



⑨更にケアフリースで仕上げます。

